

原発の再稼働を



昨年9月19日に明治公園で行われた「さようなら原発」集会。史上最大規模の6万人もの人が集まりました。当日は会場はもちろん、最寄の駅を含めて、参加者で埋め尽くされました。福島現地からも「怒 福島隊」などののぼりを掲げ、500人以上が参加しています。

原発をなくしたいという多くの人の真剣な思いがあふれています。2012年を、本当にすべての原発を廃止する年にしましょう！

絶対に止めよう！

法政大学を受験されるみなさん、お疲れさまです。私たちはみなさんを心から応援し、ともに大学生活を送れることを願っています。そして、なんとしても原発の再稼働を止めるため、一緒に行動しましょう。スタッフも大募集です！

●「原発の再稼働」を絶対に阻止しよう！

ついに原発は全54基中51基が停止し、残る原発はわずか3基です。多くの人たちの声と行動が政府・東電、原子カマラを追い詰め、今年の4月末には「全原発の停止」が現実のものになるようとしています。

一方、今なお15万人を超える人々が避難生活を強いられ、福島県の大半が、本来ならば今すぐにでも避難しなければならない「放射線管理区域」以上の高線量被曝下にあります。溶け落ちた核燃料がどこにあるかもわからず、取り出す方法すら不明です。それにもかかわらず、野田政権は昨年12月に「収束宣言」を出し、責任逃れに終始しています。そして、原発の再稼働と海外輸出へ向かおうとしています。

福島の人々をはじめ、私たちの怒りや悔しさ、思いを踏みにじり、これまでの利権構造を維持しようとしています。絶対に許せない！ 原発再稼働反対の声をあげよう！

「再稼働阻止！全原発廃炉」に向けて、みんなで参加しよう！

原発いらない！ 3/11県民集会

【要項】 3月11日(日) 福島県郡山市開成山球場

※東京からバスが出ます。

13:00～集会 15:00～デモ

興味がある方は、気軽にご連絡下さい。

斎藤郁真(法政大学) 090-2156-8882 tanaka-tigau@docomo.ne.jp

洞口朋子(法政大学) 090-9630-9067 tmk-1130@ezweb.ne.jp

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL 050-3036-6464 <http://www.zengakuren.jp/> mail_cn001@zengakuren.jp

●政府の卑劣な再稼働策動を許さない！

再稼働条件の原発安全評価

大飯3、4号機「妥当」

定期検査中の原発再稼働条件となる安全評価(ストレステスト)の1次評価で、経済産業省原子力安全・保安院は16日、関西電力が提出した大飯原発3、4号機の再稼働安全評価結果を「妥当」として公表した。意見書も提出し、意見を聞いていない。関係の面々。

定期検査中の原発再稼働条件となる安全評価(ストレステスト)の1次評価で、経済産業省原子力安全・保安院は16日、関西電力が提出した大飯原発3、4号機の再稼働安全評価結果を「妥当」として公表した。意見書も提出し、意見を聞いていない。関係の面々。

保安院 初判断 抗議で会合遅れ

保安院が定期検査入り
電力事業者が報告書
原子力安全・保安院が審査
原子力安全委員会がチェック
地元自治体の了解
直轄と関係機関の判断

ストレステストの1次評価の流れ
は、除染を閉め出洋行など遅れた
は、関係の面々で、関係の面々で

保安院が定期検査入り
電力事業者が報告書
原子力安全・保安院が審査
原子力安全委員会がチェック
地元自治体の了解
直轄と関係機関の判断

保安院が定期検査入り
電力事業者が報告書
原子力安全・保安院が審査
原子力安全委員会がチェック
地元自治体の了解
直轄と関係機関の判断

1月18日、原子力安全保安院は大飯原発3・4号機のストレステストを「妥当」としました。審査委員11人中9人が原発推進派という不公正な構成に加え、傍聴者を排除しての強行でした。テストとは名ばかりで、再稼働のために「妥当」の結論を押し通すものでしかありません。しかも推進派委員のうち、司会を含む2人は、三菱重工など原発メーカーから「研究費」を受けとってさえいます。そもそもストレステスト自体、原発メーカーが打ちこむ数字によってどうにでもなるものでしかありません。原発メーカーの得手勝手な「安全」評価

「今日中に」聴取会強行

別室傍聴に市民猛反発

2委員欠席

委員がエントランス、許可証を拒絶する。最終的には野田建設事務所、たけし、地元自治体は安全評価

聴取会がエントランス、許可証を拒絶する。最終的には野田建設事務所、たけし、地元自治体は安全評価

聴取会がエントランス、許可証を拒絶する。最終的には野田建設事務所、たけし、地元自治体は安全評価

1月19日、東京新聞

「今日中に」聴取会強行。別室傍聴に市民猛反発。2委員欠席。委員がエントランス、許可証を拒絶する。最終的には野田建設事務所、たけし、地元自治体は安全評価。聴取会がエントランス、許可証を拒絶する。最終的には野田建設事務所、たけし、地元自治体は安全評価。聴取会がエントランス、許可証を拒絶する。最終的には野田建設事務所、たけし、地元自治体は安全評価。

に、金で買われた学者がお墨付きを与えるという、「原子カムラ」の腐敗したあり方をいまだに続けています。さらに、政府が最も再稼働を狙う伊方原発3号機(愛媛県)では、危険度の高いMOX燃料が使われ、その近海には巨大な活断層があります。それでも政府は再稼働をするために、2月上旬にも現地で避難訓練を行うことを明らかにしました。自衛隊を動員し、住民を海上に避難させるというものです。野田首相は、再びフクシマのような大事故が起ころうとも原発を再稼働しようとしています。そして、またしても「原子カムラ」が利権のために真実を偽り、私たちの命や生活を犠牲にしようとしています。もう繰り返させてはいけません！

●真の「復興」とは、原発を止めること

「政府・東電は被災者の命や生活などまったく切り捨て、一切の責任から逃れようとしています。・・・どこまで福島県民をなめたら気がすむのでしょうか。・・・『人よりもカネ』の新自由主義の『復興』など、もうごめんです」(すべての原発いまずぐなくそう！ 全国会議フクシマの3・11福島県民集会へ向けてのアピールより)。

いま福島で行われようとしている「復興」は、福島県民のためのもではありません。「除染」事業すら原子カムラの利権にされ、「放射線医療特区」をつくり、放射能を浴びせられた200万福島県民、36万の子どもたちが人体実験の材料にされようとしています。

原発が稼働し続け、原子カムラが温存されたままの「復興」が本当の「復興」でしょうか？ 必要なのは、利権漁りの「復興」ではなく、本当に被災地・福島の人たちのための、命や生活

を守るための「復興」です。そのためには、まずすべての原発を廃止することこそ必要ではないでしょうか。

●「原発反対ビラまき」を禁止する法政大

3・11以来、あまりにも有名になった「御用学者」の存在。すべてカネ儲けの手段に変える新自由主義政策の下、学問が商品にされ、大学は腐敗させられてきました。そして、その大学のあり方が全社会的な問題になっています。

しかし、その中で法政大学は、私たちが原発反対のビラをまくことを「営業妨害」(!)だとして裁判所にビラまき禁止を申請しました。法政大は「自由と進歩」を掲げながら、本来教育や研究を役割とする大学で、学生が真理を探究し、仲間と共に議論し表現することよりも、金儲けが優先だというのです。反原発のビラまきを禁止し、「営業権=金儲け=一人でも多くの受験生から受験料をむしり取ること！」を主張する。これこそ「安全神話」を生み出した大学の腐ったあり方です。

今、大学は再稼働のため、低線量内部被曝の危険性を隠し、「安全対策は妥当」とお墨付きを与える役割を担っています。今こそ「命や真実より金」という大学や社会を変える時です。

原発推進 11大学に104億円

国と関連企業提供

06～10年度 大半は受託研究費

重鎮学者が会社設立

「国と原発」

資金調達 直弟子に寄付

わづか5年間で11大学だけで104億円！ 東北大学などは公表すら拒否(!)しています。(1月22日、毎日新聞)

●私達の行動で再稼働は止められる！

来たる3月11日、原発事故から1年を期して福島で県民集会が開かれます。この日こそ、あらゆる思いや怒りを「再稼働阻止」に込め、声をあげる時です。再稼働は私たちの行動で止められます。東電・政府、原子カムラの責任をとことん問い、今度こそ原発を止めなくてはなりません。

福島の思いとともに声を上げよう。それは二度と福島のような事故を許さず、今の社会を変える力にもなります。3月11日、福島の地に全国の「再稼働阻止」の思いを一つに集め、野田政権の原発再稼働を絶対に阻止しましょう！

東京からも行動しよう！

☆2/11「さようなら原発」全国一斉集会

2月11日(土)13:30～ 代々木公園B地区、ケヤキ広場

